

平成30年度 第3回摂津市民図書館等協議会 要点録

日時:平成 30 年 12 月 18 日(火)

10 時 00 分～11 時 30 分

場所:摂津市民図書館 3階大会議室

出席委員: 7 名

欠席委員: 3 名

事務局: 3 名

案件 1. モニタリング評価結果報告(平成 30 年度第 2 四半期)

2. 利用者満足度調査

3. その他

(1)モニタリング評価結果報告(平成 30 年度第 2 四半期)について

(事務局) — モニタリング評価結果(平成 30 年度第 2 四半期)について説明 —
モニタリング評価自由記載欄の意見について

(事務局) ○「閉架のスペースが少ないので、廃校舎等のスペースを活用して更に別置できないものか。」ということについて

⇒出納依頼を受けた資料がいつ提供できるのかという運営面、廃校舎に資料を置くという点で機械警備などが可能かという管理面が問題になってくる。

現時点での回答はできないが、書庫ツアーで閉架書庫の状況を見てのありがたいご意見だと思うので今後の管理運営の課題と受け止めておきたい。

(事務局) ○「業務報告 7 月 8 月 9 月の選書状況表にある「新刊等選書分」と「スタッフ補充等分」の違いを教えてください。」

⇒「新刊など選書分」とは新刊書を対象に生涯学習課とともに選書をして購入した図書。「スタッフ補充等分」とは、既刊本を対象として、汚損がめだつものや参考資料の買替及び蔵書構成上不足していると考えられる分野の補充を目的として購入した図書である。これに利用者からのリクエストが加わっている。参考図書を買替えるタイミングではスタッフ補充の金額が膨らんでいるが、新刊が選書の大半を占めている。

(事務局) ○「おはなし会の報告書の中に、大型絵本で図書館で開架されていないものがよく読まれているようです。他館から借りておられるのですか？書架にあるのでしょうか？」

⇒大型絵本はおはなし会用としてボランティア団体等にに使っていただくという位置づけで購入をしており、ほとんど開架には並べていない。

ただし、大型絵本を購入した場合は必ず同じ内容の通常サイズの絵本が開架にある状態にしている。

(委 員) 大型絵本の冊数を教えてもらいたい。また、ボランティア団体として認められれば貸出がしていただけるのか、活動が図書館内でないと貸出してもらえないのか、持ち出しができるのか細かくお聞きしたいと思う。

(事務局) 大型絵本のリストが用意できていないので、作成する。

(委 員) 私たちは団体貸出で通常2週間のところを1か月貸出してもらえるので、助かっている。大型絵本は開架にあるものは貸出してもらえるが、それ以外は館内のおはなし会の時のみに使っている。おはなしボランティア団体から館外貸出の要望がたくさんあれば、変えてもらえるのでは。

(事務局) ○「乳幼児は特に気に入った絵本を何度も読んで欲しいものです。おはなし会でその日読まれた絵本を行事終了後すぐに親子で手に取って読むことができたり、貸出ができたりする環境を作られることを提案します。」

⇒おはなし会用の絵本は図書館が借りた状態にしてキープしてあるのでそのままお渡しすることができないが、お申し出いただければその状態を解除して貸出すことができる。

(委 員) 読んだ本をその場で貸出ができるというアナウンスをおはなし会の時に積極的にしていただきたい。

(事務局) ○「図書カードと9月の予定カード(カレンダー)と一緒に財布の中に入れるには、予定カードが少し大きくて入りきれなかったのもう少し小さいサイズに変えてもらいたいと思います。」ということについて。⇒予定カードのサイズを現状より小さくするのは可能だが、別途、現状では見にくいので大きくしてくれという声もある。サイズを様々にするということも考え方としてあるが、作成が大変なのでご理解をいただきたい。

(事務局) ○「市民図書館の入り口が少し分かりにくく暗いように思えますので対処いただければ幸いです。」についてだが、以前から出ているご意見で、こちら照明をLEDに交換するなどの対応をしてきたが改善に至っていない。サイネージ等の明るいサインを設置するとか、照明を新たに取り付ける等の方法は考えられるが、いずれも工事や備品の購入といった手続きが必要になってしまう。入り口なので少しでも明るくできるような形にしていきたいと思っている。

(事務局) ○「ビブリオバトルについて、観覧者として楽しみにして参加した。1回目はビブリオバトルなるものが初めてで、昨年2回目は参加者も多数いて、今年はずっと増えるだろうと思ってきたが3連休のせいもあった

のか少し寂しかった。来年度も日程を決めるときはなるべく参加しやすい日を設定してほしいと思いました。」

⇒3連休でどこかに出かけられた方が多かったのか、その時間帯館内の利用者の数が少なかった。来年度は連休を避けて通常の土曜日の午後等に設定すべきと考えている。

参加者・観覧者ともにホームページや広報紙等でアピールはしていたが、それでも告知が足らなかったと思う。今後は学校・図書担当教員や読書サポーターの方に早い段階から働きかけて子どもたちの参加を勧めていきたい。

(委 員) ビブリオバトルの開催場所は図書館と決まっているのか。

(事務局) 図書館を知ってもらいたいという目的もある。

(委 員) 本の紹介をするのであれば、学校、病院、介護施設というコミュニティに会場を移動するのもよいと思う。

(事務局) 摂津では認知度が低い部分があるが先進的な事例を少しでも取り入れて企画できたらと思う。自分が知らない領域を知り、新しい視野を持っていただけの良い企画だと思うので、浸透させていくことを考えないといけない。

(事務局) ○「インターネット予約の改訂版は見やすくなり、よかったです。産後間もない方に渡しました。これで遠くまで行かずとも予約・受取ができると言って喜んでいました。リクエストに対しても実行してほしいです。」

⇒図書館で所蔵していない資料の取り寄せ希望を受け付けるということだと思うが、今の図書館システムでは不可能である。ただし、リクエストもカウンターだけではなく電話でも受付をしているので対応はできていると思う。

(委 員) リクエストができることを知らない方が大半だと思うが、それについてはどうだろう。

(事務局) それについては図書館も生涯学習課も周知をしないといけないと思う。必ず希望した本が入るということはないが、電話でも受付はできるということ。

(事務局) ○「コミックはリクエストを受け付けないと以前言われましたが、良書ならばよいではないのですか。」

⇒最近のコミックは目覚ましい表現力をもったものが多く出ているが、図書館では「漫画でわかる経済」といった入門書など図書につながるものの購入を基本に考えている。

(委 員) テレビドラマ化されたケースワーカーについての漫画が男女共同参画センターに置いてある。あのように勉強になるものであればいいのではないか。自分がリクエストしたかったのは今爆発的に売れていて書

店での入手が困難な漫画である。皆が見ているものであれば購入してもいいのではないだろうか。

(事務局) ドラマ化したものがノベライズされていれば購入を検討するが、書店での入手が困難であると図書館の購入ルートでも同様に入手が難しくなっている。また、コミックの場合いつまで続くのか棚をどれぐらい確保していけばよいのかその目途が立たないので購入が難しいという点もある。ただし、児童書の漫画コーナーにある漫画の扱いについては考えなければならない。そのコーナーに漫画があることが子ども達の次の読書に繋がってほしいと思うので。

(委 員) 男女共同参画センターの選書は社会的背景があるものに限定されているので参考にしてもらいたい。

(事務局) いただいたご意見は以上だが、他に言及することはあるだろうか。

(委 員) 前回雑誌書架の一番下が見にくいと発言をさせてもらったが、それについて改善が見られない。移動式の小さい椅子などを置いてもらえたらいいのだが。

(事務局) 書架間の幅が 110 センチほどしかなく、椅子を置きそこに人が座ると通路の大半を占めて、車椅子の通行ができなくなってしまう。使うときだけ移動できる椅子を用意してもやはり車椅子の通行ができない。だが、可動できる椅子があればというご要望は受け止めたい。空間には限りがあるので、もうしばらく検討する時間をもらいたい。

(2)利用者満足度調査について

(事務局) 8月に実施した利用者満足度調査で利用者からのご意見を頂戴した。今回は結果だけではなく、利用者の方の思いを図書館として率直に受け止めながら、より良い市民サービスに繋げていくためにということで、対応策を書かせていただいている。記述方式の回答の部分でなにかご意見があればおっしゃっていただきたい。

(委 員) 図書館を増やしてほしいという意見がある。千里丘地区については近隣自治体との広域利用でクリアされた形になっているのか。それともすぐの実現はむずかしいだろうが、総合計画があるのか。

(事務局) 具体的な図書館計画は上がっていないが千里丘の方は公民館の図書や児童図書が結構充実しているので、それに対応していければと思っている。また吹田市立図書館の新館が 2020 年度に健都にできるということなので、そちらを広域利用で利用できればとも考えている。

(委 員) スタッフの対応について厳しい意見が書かれているが、(市民図書館の自由記述回答に「スタッフの対応が冷たい」等の意見がある)市民図書館のカウンターは忙しいのではないか。

(事務局) 内部でも月1回の資料整理日等にその点についての話はしており、満足度調査の結果については全員が目を通してしている。また、職員に接遇の研

修も受けさせている。鳥飼図書センターと比べて若干市民図書館の方が機械的に感じる部分もあるが、貸出手続き等カウンターでの忙しさが違いすぎるので考慮はしたい。

(委 員) 市民図書館は受付が貸出・返却の固定をしていないので、忙しくなるとすぐ別のスタッフが入ってくれて、奥の端末を使って3人で作業をしてくれる。

(委 員) その方式はいいと思う。もう少し場所があって図書館の人と会話ができるスペースがあればいいのだが。図書館の人に聞きたいことがあってもゆっくり話ができない。

(委 員) 子どもが携帯ゲーム機をしていたとあるが。

(事務局) 音が出ないようにしているので職員がなかなか気づけない。気が付いたら「ここでゲームはやめようね」と言って外に出てもらったり、やめてもらったりしている。「ここに何しに来ているの」と聞くと、「友達と一緒にいたいから来ている」という、そういう感じの子どもたちが一定割合いる。

(3)その他

(事務局) 大阪市立井高野中学校生徒の特別利用登録について

先日、東淀川区長から東淀川図書館が遠すぎて利用ができない井高野中学校生徒が摂津市民図書館利用をさせていただけないかという申し入れがあった。一生懸命頑張っている子どもたちを支えてあげたいという点もある。加えて、東淀川区・大阪市とは将来の相互利用で利便性を図ることも視野に入れ、その前段階として特例で井高野中学校の生徒の利用を開始することになった。相互利用の動きについては次回以降の協議会でも報告させていただく。

(委 員) 吹田と大阪市がすでに相互利用の提携をしているが、井高野ならば摂津市民図書館の方がかなり近い。いいことだと思う。

(事務局) 他のご意見はあるだろうか。

(委 員) この頃、漫画の本が異常に多く出ていて、例えば日本歴史とか人物や民法などについて1冊にまとめている本がある。それを読んだら 詳しいことは別として、大よそのことがよくわかるのだ。そういう漫画はあまり閲覧室で見てないのだが。

(事務局) 「漫画でわかる〇〇」というのを何冊か入れている。そこからもう少しここを知りたいと別の本を手にとってくれるという期待があるので入れている。